

第3回 早稲田大学シェイクスピア上演プロジェクト

リーディング公演

MACBETH

出演者募集！

本番

2019年3月2日(土)～4日(月)

@早稲田小劇場 どらま館

(3～4回公演予定)

オーディション

2019年1月12日(土) 14:00～17:00

@学生会館E318

詳細は裏面に記載

早稲田大学 シェイクスピア上演プロジェクト

シェイクスピア生誕400周年にあたる2016年、記念イベントのひとつとして「早稲田大学学生によるシェイクスピアリーディング公演」が企画され、『ヴェニスの商人』を上演しました。また昨2017年には第二回公演『コリオレイナス』を上演。どちらも大好評のうちに終え、第三回公演が決定しました。

今年度は文学座から生田みゆきさんを演出にお招きし、これまでと同様に文学座のスタッフの皆様のご協力をいただいでシェイクスピア作品に挑戦します。

学生たちがシェイクスピアの戯曲を声に出して読み、舞台として立ち上げるリーディング公演は本学における新たな実践のかたちです。経験の有無に関わらずふるってご応募ください。



演出 生田みゆきさん

演出家。文学座所属。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。

2016年夏、ドイツ文化センターの文化プログラムの語学奨学金(芸術分野対象)を得て、ドイツに滞在。
2017年12月『鳩に水をやる』(ノゾエ征爾作)、2018年4月『最後の炎』(デーア・ローアー 作、新野守弘訳)と連続して文学座アトリエの会の演出を担い、新人演出家としては異例の登用に注目が集まった。オペラ・演劇の現場で培われた「音楽」と「言葉」に対する鋭い感性が評価されている。

リーディング公演 MACBETH

『マクベス』

シェイクスピアの戯曲を代表する四代悲劇の一作として知られる『マクベス』は、下克上が頻発する騒乱の中世スコットランドに実在した王の生涯を脚色した作品だ。魔女の預言と夫人の言葉に魅せられて、先王ダンカンを殺害し王座に就くマクベス。しかし疑心暗鬼に囚われたマクベスに安息は訪れず、復讐と自ら犯した罪に脅え、狂瀾怒濤の悪夢に飲み込まれていく。やがて預言は覆り……。

永遠に続く時の中、人の歩む生はただ虚ろな影法師の道行きに過ぎないと語るマクベスの孤独は、今なお多くの人々に突き刺さる。そして魔女の預言は現か幻か、はたまたこの世の栄華は現か幻か。人は何を見て、人は何を信じて生きるか、その規範が薄れた今日にこそ、シェイクスピアの視線は鋭く浮き上がる。

しかし何故『マクベス』という作品は、暴君の転落を描く因果応報譚に留まることなく、人類史上に冠絶する一大悲劇たりえるのだろうか。

リーディングという形式で、言葉との対峙を通して『マクベス』に挑む本企画では、古典の今日的再発見だけでなく、言葉が舞台の上に立ち上がった時に初めて花開く、演劇の精髓をも体感できるに違いない。

応募要項

演目:『マクベス』(リーディング公演) 小田島雄志訳(白水社)を使用予定

本番: 2019年3月2日(土)~3月4日(月) @早稲田小劇場 どらま館

【資格】

- 1.全ての早稲田大学生。学部、学科、研究科、経験不問。
- 2.下記の本番日程全てに参加可能である方、下記の稽古日程を優先できる方
(授業等による稽古への多少の欠席、遅刻は問題ありません。)

稽古日:2019年2月18~28日の10日間(24日を除く) 13:00~19:00 学生会館 E318

【応募方法】

件名を「『マクベス』オーディション応募」とし、

本文に氏名、学部(研究科)、学年、学籍番号、連絡先を明記の上、下記までメールにてご連絡ください。

折り返し、1月12日開催のオーディション詳細と応募用フォームをお送りします。

t.shintaku@akane.waseda.jp(制作 新宅司) 締切:2019年1月10日(木)

オーディション日程:2019年1月12日(土)14:00~17:00 @学生会館E318

※応募多数の場合、選抜のためオーディションを行います。例年未経験者も多く本番に参加しています。ぜひお気軽にご参加ください。

その他ご質問、問い合わせも随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

t.shintaku@akane.waseda.jp (制作 新宅司)

主催:早稲田大学 国際教養学部 共催:早稲田大学 文化推進部文化企画課 企画:冬木ひろみ(早稲田大学文学学術院教授)